

# 生活知恵袋

せいかつちえぶくろ

Vol. 98

## 今月のテーマ

## 家計診断の実際 Part.3 「老後を見通す」

いよいよ「家計診断の実際」としての最終回となる。これまで人生の3大資金の『住宅資金』と『教育資金』に焦点を当ててきたが、それぞれに掛かる費用の大きさを考えると行き当たりばったりでは済まないレベルであるということはお分りいただけたらだろうか。

そして、今回の家計診断は「老後の生活がどうなるか」を展望してみようというものだ。解説資料は全ての方に共通するものではないのだが、多くの方に共通して言えるのは、将来に受け取る公的年金だけでは「ゆとりある生活資金」には届かないということだ。

老後の生活資金が、他の『住宅資金』や『教育資金』と決定的に違うのは、現役世代のような勤労収入ではないということだ。現役の時、今月の収支が赤字でも翌月には解消することが出来たかもしれない。しかし、もともと不足している公的年金収入だけではそれが難しくなる。

退職後の主たる収入は、勤労収入から年金収入に代わり、その金額は殆どの場合で下がってしまう。必要生活費には届かない場合が多く、現役世代では少しずつ貯金が出来ていたとしても、現役引退後は預貯金などの金融資産を取り崩す生活になってしまいかねない。

もちろん、夫婦ともに所得の高いフルタイム勤務での厚生年金加入があれば、夫婦の合計額は「ゆとりある生活資金」に届くケースも無い訳ではないが、それでも夫婦の一方が先に亡くなった場合、その後の生活に大きく影響してくる。

家計の健康診断では、今後予想される収入やライフイベントに基づく支出を想定することで、老後の収支バランス（キャッシュフロー）が見えてくる。多くの方が、何気に問題が起こりそうなことを薄々感じていて、また確認する大切さも分かっているが、その現実を受け止めるのが怖いという人もいる。

パンドラの箱(ギリシャ神話)ではないが、何が入っているかは開けてみなければ見えてこない。「ゼウス」が「パンドラ」に渡した箱の中には、災いを詰めたと言われているが箱の底には希望も入っていたという。ここで開けようとする「老後の現実」という「パンドラの箱」は、災いなどではなく客観的な将来の展望だ。そして、その現実をポジティブに受け止め希望に変えていこうというものだ。私が開けようとしている「パンドラの箱」は皆様の将来に希望を見出そうというものだ。

それにしても何故ゼウスは、開けてはいけない箱をパンドラに渡したのだろうか…!?



### ●試算の前提条件

今回紹介するサンプルはこれまでの前提条件と同様、夫婦子供4人家族・共働きのケースである。それぞれの世帯事情は多種多様であり、必ずしも当てはまるものではないので、個別の試算については「ファイナンシャルプランナー」などに作成を依頼することをお勧めしたい。

家族構成／夫婦子供4人家族・共働き

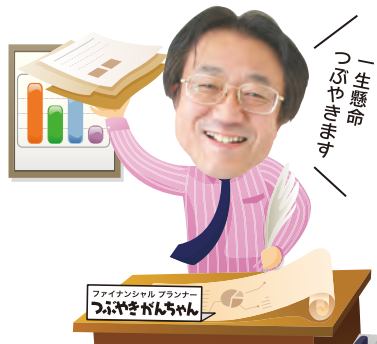
	夫	妻	長女	長男
年齢	35歳	33歳	5歳	3歳
職業	会社員	会社員	保育園	保育園
収入	376万円	200万円		
加入年金	厚生年金(65歳退職)	厚生年金(60歳退職)		



### ●【表1】公的年金(老齢年金)予想グラフ表

左ページ表1の上段は夫婦それぞれの厚生年金と基礎年金のグラフに夫婦の合計年金額を重ねたものである。何時からいくら位の額が受給できるのかのイメージがつかめるであろう。下段の表には、夫婦それぞれの実額が記載されていて最下部には夫婦の合計額を見て取れる。

夫65歳の時点で妻はまだ受給年齢に達していないため、月額145700円となり生活費としては厳しい。妻が65歳の年金受給年齢に到達するまでの2年間は、不足額を貯えの中から取り崩す格好になる。妻が65歳になった時の世帯合計は、256100円



齋藤 廣勝 (さいとう ひろかつ)  
株式会社トータルライフサポート代表取締役  
・CFP®ローティファイドファイナンシャルプランナー  
・1級ファイナンシャルプランニング技能士  
・日本商工会議所 年金・退職金等認定講師  
・住宅ローンアドバイザー  
・金融広報アドバイザー

## 保険と暮らしの相談センター

### “ご加入中の火災保険は大丈夫!?”

近年、局地的な豪雨や落雷、竜巻、異常な大雪などにより家屋や家財の損害が増えています。現在ご加入中の火災保険でしっかり対応できますか? ぜひ補償内容をチェックしてみましょう!!

お気軽にご相談ください。

株式会社  
total life support  
募集代理店 **トータルライフサポート**

〒010-0916 秋田市泉北3丁目17-22

- 営業時間 / 9:30~19:00
- 定休日 / 水曜日

**TEL 018-827-7611**  
FAX 018-827-7610  
URL <http://tls-akita.co.jp>

● 紳士服のコナカ  
● すずきクリニック エネオス  
● 当店  
● マクドナルド  
● かんきょう  
● 洋服の青山

詳細はホームページでもご覧いただけます。

となり、この年金額が生涯継続することになるが、一つ忘れてはならない。それは、夫婦のどちらか一方が亡くなった場合、その受給額は大きく減少するということだ。その金額がいくらになるかは遺族年金の試算が必要になるため、ここでは説明を省略させていただくが、その後の生活にあっては一定の貯えが必要であることには間違いない。

【表2】65歳以降のキャッシュフローグラフ

表中の上段は、年金収入の棒グラフに年間支出額（月額生活費23万円）（赤線と年間収支の折れ線グラフ）を重ねたものである。70歳まで住宅ローンがあるため、その間は大きなマイナスが継続する。住宅

ローン終了後の収支はほぼトントンで何らかの急な出費があったりすると即赤字に転落する恐れがある。下段のグラフは、赤字額の累計額を表すもので少しずつ赤字幅が膨らんでいくことが見て取れる。

【表3】リタイア後のキャッシュフロー表

夫が65歳で退職、妻が60歳で退職という前提の中で、資料1・2を含め実際の数値が確認できる。表の上部には家族ごとの収入（年金収入の推移）、その下の行には生活費などの支出の内訳が並ぶ。支出の中の住宅ローン返済は70歳まで続いていることが目を引く。さらにその下の行では、収入合計から支出合計を差し引いた年間収支が確認出来るが、そ

の数値は住宅ローンの返済が大きく影響していることが伺える。世帯主が88歳になった時点での赤字累計額を見てみよう。その金額は何と1700万円を超える。表中での赤字額は何となく迫力に欠けるが、端的に言えば既に家計は破たんしていることに他ならない。

問題はこちらから始まる

これまでの家計診断の結果だけを見れば、やっぱり「バンドラの箱」の中には災いが入っていて、バンドラの箱なんか開けなければ良かった”なんてことになってしまふ。しかし、家計の将来収支はギリシャ神話の「バンドラの箱」とは訳が違う。神話では箱を開けなければ災いは飛び出さないが、家計の場合は開けようが開けまいが、現実はやがて判明する。今、開けないということは、問題から目を背け対策を先送りすることに他ならない。

退職後のキャッシュフローは、単年度の収支のみを見るだけではいけない。最も大事な部分は、金融资产残高がプラスになっていなければならぬということだ。このサンプルでは、65歳時に退職金500万円が入っても尚、993万円の累計赤字があり、それは増え続けていく。原因は住宅ローンの組み方や、教育費の調達方法、はたまた生活費そのものを含め、全ての収入・支出に起因しているということだ。

開けたバンドラの箱の中に入っていた問題を洗い出し、今からできることを一つずつ実践する中に、希望を見出していかなければならない。さあ、まずはバンドラの箱「家計診断」をしてみようではないか？

資料を大きいサイズでご覧になりたい方は

弊社ホームページ上のトップページ下部「トータルライフサポートからのお知らせ」欄に「エー・クラス関連資料」として掲載させていただきます。  
(<http://tis-akita.co.jp/>)

来月号は…

もう締め切り間近で早く提出しないと編集部に叱られてしまうので、来月号のことは後でゼウス様に聞いてみよう。

